

# CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 14 No.17 2012年9月15日号

編集:[editor@cnar.jp](mailto:editor@cnar.jp) 広告:[pr@cnar.jp](mailto:pr@cnar.jp) 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2012 CNA Report Japan. All rights reserved.

## 製品・サービス動向-国内

### キーウェアソリューションズ、多地点 HD テレビ会議システム「NC1000-MV」を利用したクラウドサービスの提供を開始

キーウェアソリューションズ株式会社(東京都世田谷区)は、日本電気株式会社(東京都港区)の多地点 HD テレビ会議システム「NC1000-MV」を利用した「多地点 HD テレビ会議クラウドサービス」を8月22日より販売開始と発表。

(8月22日)

多地点 HD テレビ会議クラウドサービスの特長は以下の通り。(1)H.264、HD(720p)、MPEG-4 AACに対応している。(2)従量制によるクラウドサービス。価格はWeb会議並という。(3)NTT 東日本、NTT 西日本のフレッツ光ネクスト(NGN)に対応し、セキュアで帯域保証された回線環境のため安定したテレビ会議が可能。(4)フレッツ光ネクストを利用すれば他社間とのテレビ会議も安全かつ簡単に実施可能。(5)スマートフォン、タブレットからのテレビ会議参加可能。(6)携帯電話からの音声のみでの参加可能。

### SOBA プロジェクト、無料セミナー配信サービス「SOBA Live」の新機能としてパスワード機能を追加、公開/限定公開の設定が可能に

株式会社SOBAプロジェクト(京都市下京区)は、同社が提供する無料セミナー配信サービス「SOBA Live(ソバ・ライブ)」に、新機能として「パスワード機能」を8月24日に追加した。(8月24日)

SOBA Liveは、約2900万人を越える資料共有サービス「SlideShare(スライドシェア)」と連携した、登録料・利用料無料のセミナー配信サービス。今回パスワード機能を追加することで、Webセミナーの公開/限定公開の設定が可能になった。

SOBA Liveの特長は、以下のとおり。(1)Web上でPDFやPowerpointなどの資料を参加者に見せながら同時に講師の映像も配信できる。(2)セミナー配信レイアウトは、「資料+講師映像」もしくは「講師映像のみ」の2種類。(3)映像については高画質にも対応。(4)参加者や講師が自由に書き込みできるチャット。(5)セミナー開催時間は、5分から最長120分。(6)同時に参加できる人数は上限1万人まで。

SOBAプロジェクトによると、有料のWebセミナーサービスは多数存在するが、公開/限定公開の設定も無料で提供するWebセミナー配信サービスは業界初の試みという。

### VQS マーケティングのVQS コラボ、Android対応などバージョンアップを発表

VQS マーケティング株式会社(京都市南区)は、同社が提供しているWeb会議・遠隔授業システム「VQS コラボ Version3」と「VQS コラボ V3 for Learning」のクライアントソフトバージョンアップを8月22日行った。(8月22日)

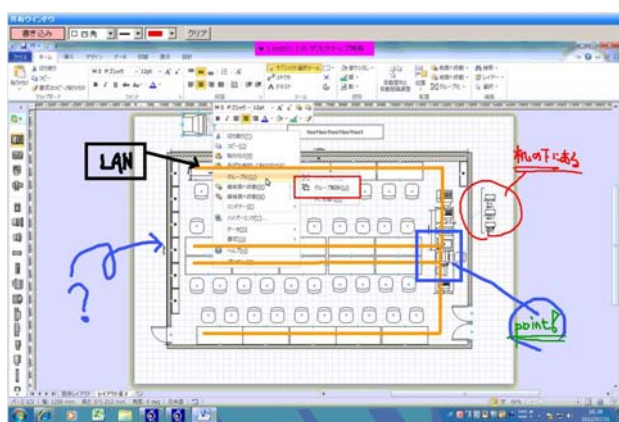
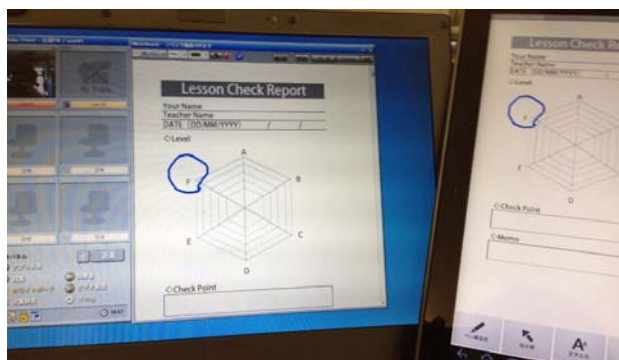
新バージョンの内容は、「VQS コラボ Android アプリ」のリリースと、「アプリケーション共有&デスクトップ共有機能」のバージョンアップとなっている。

VQS コラボ Android アプリによって、Androidを搭載したタブレットなどからVQS コラボを利用できるようになった。特長としては、(1)音声は最大22kHz サンプリングによるFM音質、(2)タブレットなど向けに新たにデザインされたインターフェイスのため縦横画面の自動回転に対応、(3)会議資料の共有・双方向での書き込み・発言ができる、などがある。

一方、アプリケーション共有&デスクトップ共有機能については、Web会議・遠隔授業を行いながら、パソコン画面を参加者同士で閲覧、操作することができるようになっている。

この機能では、会議・授業に“参加している”パソコン画面を共有する「デスクトップ共有」と、会議・授業に“参加していな

い”パソコン画面を共有する「外部共有」を行うことができる点が特長。



#### VQS コラボ (VQS マーケティング 資料)

デスクトップ共有は、アプリケーションの閲覧または操作をする打合せ、利用したいアプリケーションを所有していない参加者との打合せ、アプリケーションの操作指導などで活用できるという。

一方、外部共有では、共有時にパソコンに保存されている見せたくないファイルなどを不用意に見られてしまうといった事故を予防することを想定したものと同社では説明している。

なお、Android アプリは、VQS コラボ契約に付随した無償提供となっているが、アプリケーション共有&デスクトップ共有機能は、オプション契約となっている。

#### 製品・サービス動向-海外

##### Vu Telepresence 社、月額 89 ドルで利用できる HD テレビ会議サービスを発表

Vu Telepresence 社は、低コスト定額で利用できるテレビ会議サービスを発表。(8月8日)

この TaaS(Telepresence as-a-Service)は、定額 89ドル/月。この金額には、コーデック、720p カメラ、ワイヤレスキーボード、スピーカー、マイクロフォンなどを含むテレビ会議システムに加え、無制限利用が含まれている。また、このサービスを利用し始めて 30 日以内であればテレビ会議システムを返却しキャンセルをすることも可能としている。

同社では、ユーザがシステム自体を購入して導入するよりも、サービスを利用することでテレビ会議システムの導入が進むと期待している。

##### Jenne 社、LifeSize ビデオ会議システムと Revolabs 社のワイヤレス音声システムをバンドルしたソリューションの提供開始

米 Jenne 社は、同社が取り扱っている LifeSizeビデオ会議システムと Revolabs 社のワイヤレス音声システムを組み合わせたソリューションを発表した。発表と同時に販売開始されている。(8月21日)

Jenne 社では、3 つのターンキーソリューションを提供する。(1)中規模から大規模会議室向けソリューション:ライフサイズの「LifeSize Room 220」もしくは「LifeSize Room 221i」と、Revolabs 社の「Revolabs Fusion」とのバンドル。(2)小規模から中規模の会議室ソリューション:「LifeSize Express 220」と「Revolabs HD Dual」とのバンドル。(3)SOHO ソリューション:「LifeSize Passport」と「Revolabs HD Single」。

Jenne 社は、オハイオ州 Avon に本社がある。ビジネステレフォニー、データ、音声およびビデオ会議、セキュリティなどの製品を大企業から中小企業まで提供している“付加価値ディストリビュータ”(value-added distributor)。150 社以上のメーカーと販売パートナーシップを組んでいる。

## Mitel 社、Vidyo 社、VMware 社 3 社合同で、UC の仮想化ソリューションを発表

Mitel 社、Vidyo 社、VMware 社 3 社合同で仮想化ソリューションを発表。(8 月 21 日)

今回発表されたのは、Mitel 社の「Unified Communicator アドバンスド クライアント ソフトウェアと、Vidyo 社の「VidyoCOnferencing」コラボレーションソリューションを、VMware 社の「VMware View」で統合したソリューション。

3社は、デスクトップ仮想化がクラウドやマネージドサービス環境実現において鍵を握ると見ている。また、ビデオは VDI アプリケーションの次のステップだとも予想している。その効果は、システムの効率化にとどまらず、ユーザの視点から見た、音声やビデオ、ウェブ、IM、ドキュメント共有などのユニファイド化や、簡単な操作性にもつながると期待している。

ただし、デスクトップ仮想化においては、パフォーマンスと遅延の可能性を考慮する必要があるという。それに対して、今回の統合ソリューションでは、ユニファイドコミュニケーションの通信において、呼制御の部分と、データの部分を分けて処理することでそういった問題を解決するとしている。

一方、パートナーシップを締結した意義としては、VDI や VMWare View の可能性を広げることにつながると説明している。

## Vidyo 社、H.323 や SIP、電話などと相互接続が行える無償のサービスを発表

Vidyo 社は、無料のビデオ会議相互接続サービス「The VidyoWay」を発表した。(7 月 23 日)

VidyoWay によって、Vidyo 社のビデオ会議ソリューション「VidyoConferencing」ユーザは、シスコ社、ポリコム社、ライフサイズ社などの H.323 や SIP の端末、マイクロソフト社の「Lync」クライアント、携帯電話、固定電話などとの、ポイント to ポイント もしくは多地点接続による BtoB 相互接続が行えるようになる。Vidyo 社はこれを無償にて提供する。

マルチベンダー環境において、相互接続を実現していくことやビデオ会議端末のグローバルディレクトリーの構築を行うことは難しい面がある。他方、BtoB ビデオ会議の経済性を高めていく市場からの要望に応える必要もあり、今回、ユーザが用意にマルチベンダー環境でビデオ会議接続が行えるサービスを提供するに至ったと同社では説明している。

「VidyoWay は、Vidyo ユーザにとってとても大きな付加価値を加えるものだ。」と同社 CEO Ofer Shapiro 氏は VidyoWay の意義について述べている。

## ビジネス動向-海外

### AVER 社と Vidtel 社、SMB 向けビデオ会議ソリューションで提携

台湾の AVER Information 社と米 Vidtel 社は、SMB 向けのビデオ会議ソリューションで提携したことを発表。(8 月 14 日)

AVER Information 社のテレビ会議システム「HVC110」や「HVC310」と、Vidtel 社のクラウドサービスとの相互接続性が確認され、今後、AVER 社のリセラー販売チャンネルを通して、Vidtel 社の「Vitel MeetMe」サービスの販売を行うことになる。

AVER 社の HD 対応の HVC110 と、4 多地点 MCU とリコーディングを内蔵した HVC310 の MSRP は、それぞれ 2,499.99 ドルと 3,499.99 ドル。一方、Vidtel のクラウドサービスは、1 分 15 セント、もしくは月額 149 ドル。

### VuTelepresence 社、最新バージョン「Vu Telepresence 3.0」に対応

Vu Telepresence 社は、同社のテレプレゼンスシステムの最新バージョン「Vu Telepresence 3.0」を発表した。(8 月 15 日)

同社のテレプレゼンスシステムは、低帯域での HD 通信に対応した「Vu Pro (1.0)」から始まり、「バージョン 2.0」においては、サードパーティ製のテレビ会議システムとの相互接続も実現した。また今回の Vu Telepresence 3.0 においては、既存のテレビ会議技術を盛り込み、インターネットでの使用から、MPLS ネットワークまで対応することになる。これにより、同社にとっては、従来の SMB ユーザをターゲットとした事業領域

からこれまで開拓しきれなかったユーザ層までビジネスを展開できると期待している。

同社の Vu Telepresence は、HD(720p と 1080p)映像と HD 音声でのテレビ会議が可能。通信においては、H.323、SIP、XMPP に対応。そのほか、カスタマイズできるユーザインターフェイス、デュアルディスプレイ、レコーディング&アーカイブ、多地点接続(4+1)などに対応している。

### Windstream 社、ライフサイズと販売代理店契約、Windstream の IP サービスとライフサイズのビデオ会議を組み合わせたソリューション

米 Windstream 社は、ライフサイズ(ロジテック社の一事業部門)と販売代理店契約を締結したと発表。(8月27日)

今回の提携により、Windstream 社は、同社の IP サービスとライフサイズのビデオ会議システムとを組み合わせたソリューションを提供する。

米 Windstream 社は、クラウドコンピューティング、マネージドサービス、ブロードバンド、電話、デジタルTVサービスなどのネットワークコミュニケーションソリューションを提供している NASDAQ 上場企業(S&P 500)。米国内にデータセンターも所有、米国内の光ネットワークは、11 万 5000 ルートマイル敷設されているという。年間の売上は、60 億ドル。

### IOCOM 社、米国特許商標庁よりテレビ会議に関する特許 4 件を取得

米 IOCOM 社は、米国特許商標庁よりテレビ会議技術に関する 4 件の特許を取得したと発表。同社で保有する特許はこれで 15 件となる。(7月12日)

今回取得した特許は、テレビ会議参加端末間の通信方法(8,208,000)、データ共有におけるデータ配信技術(8,144,632)、テレビ会議セッション中のデータファイルの修正方法(8,121,990)、テレビ会議セッションの予約や招待方法(8,095,409)に関するもの。

同社は、ソフトウェアベースのテレビ会議ソリューション「Vismeet」を提供している。

### IOCOM 社、無料バージョンのテレビ会議ソリューションを発表

IOCOM 社は、同社が提供しているソフトウェアベースのテレビ会議ソリューション「Vismeet」の無料バージョンを発表した。(8月20日)

Vismeet の無料バージョンでは、デスクトップ PC、ノート PC、モバイル端末などからテレビ会議セッション中のデスクトップやアプリケーション共有、参加者の音声ボリュームやミュート調整などが行えるようになっている。

一方、フルバージョンでは、上記に加え、テレビ会議中の参加者数に制限がない、ネイティブな解像度でのデータ共有、PTZ カメラ操作、HD ビデオ、会議レコーディング&再生など無料バージョン以上の性能とさまざまな機能が利用できるようになっている。さらに、ユーザサポートも受けられるようになっている。

なお、別プレスリリース(8月29日)では、Linux に対応したとしている。すでに Vismeet は、Windows、Mac、Android、iOS に対応している。

### G2J 社、米国に北米拠点開設、SaaS 型ビデオマネージメントポータル of グローバル展開を加速

G2J 社(本社:フランス)は、米国フロリダ州マイアミに北米拠点を開設したと発表。(7月12日)

G2J 社は、テレビ会議端末や MCU などのリソース管理などを一元的に効率よく管理運営するための SaaS ベースのポータルソリューション「MyEasyVision」を提供している。ホワイトラベル(white-labeled)のソリューションのため、パートナーのブランドで販売が可能という。

同社では、最近広がってきている、クラウド型のビデオ多地点サービスやマネージドサービスのトレンドにくわえ、オンラインビデオマネージメントへのニーズも高まっていると見ている。また、昨今のビジネスのグローバル化を踏まえ、クラウド型のサービスはグローバルに提供すべきという考えもある。今回、戦略的なアライアンスパートナーを通して北米の拠点を設置することで、世界5大陸に対し、「ビデオクラウドソリューション」

および「SaaS型ビデオマネージメント ポータル」を展開できるようになったと説明している。

## セミナー・展示会情報

### < 国内 >

会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』定期開催

日程：9月19日(水)、26日(水)

※全ての日程で13:30～14:30、15:30～16:30の2回開催

会場：NEC 情報システムズ 本社(東京都港区)

主催：日本電気株式会社、株式会社 NEC 情報システムズ

詳細・申込：

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

『時代は、スマートフォンで “見える” へ！』スマートフォンを使った外国人向け各種コンシェルジュサービス

日時：9月25日(火)13:30～17:00

会場：関東ITソフトウェア健保会館(東京都新宿区)

主催：ニューロネット株式会社

詳細・申込：<http://www.neuronet.co.jp/eventSeminar.html>

### ITpro EXPO 2012

日時：10月10日(水)～12日(金)

会場：東京ビックサイト

主催：株式会社日経 BP

詳細・申込：<http://itpro.nikkeibp.co.jp/expo/>

### < 海外 >

The Third Annual Conference  
Collaboration Your Way

日時：10月22日～24日

会場：米カリフォルニア州モントレー

主催：VCI-Group

詳細・申込：<http://www.vci-group.org/Events/Conference.aspx>

### The WR UC&C Summit - Singapore 2012

日時：11月28日-29日

会場：シンガポール、Conrad Centennial Singapore

主催：Wainhouse Research, LLC

詳細・申込：

<http://www.wainhouse.com/events.php?sec=34&opt=upcoming&event=491>

## 定期レポート 電子ブック版

CNA レポート・ジャパンでは、毎月2回業界ニュース(定期レポート)を1999年から発行しておりますが、この度、カタログスクウェアさんに、2003年から2011年までの定期レポートを1年毎に合冊していただきました。2012年は1号毎です。

また、先日8月4日には、これまでのPCからの閲覧に加えて、スマートフォンやタブレットからも閲覧できるようになりました。

CNA Report Japan アーカイブ 電子ブック版  
2003年-2011年

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_report/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/)

2012年

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_report/2012/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/2012/)

定期レポート(PDFファイル)は年間23号発行されておりますが、電子ブックによって1年分を一度にダウンロードできこれまでのように1号毎にPDFをダウンロードする必要はありません。もちろん今までのPDFもアーカイブしています。

電子ブック版は、本のページをめくるようにとても読みやすくなりましたし、また1年単位ですが全文検索もしやすくなりました。定期レポートの読者の皆さんにとっても良いのではないかと思います。

ちなみにこの定期レポートは私にとっては、遠隔会議のリサーチの一環としてまとめているものでもありますし、また、私自身の活動を広げていくための機会への窓口にもなっています。

カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

\* 遠隔会議業界で長くお勤めされ、今年電子カタログ・ソリューションで起業された方が経営されている会社です。

\* この電子ブック版についてご意見等ございましたらよろしくお願いたします。橋本宛 [cnar@cnar.jp](mailto:cnar@cnar.jp)

## 編集後記

今号もお読みいただきましてありがとうございました。

テレビ会議/Web会議においては、グローバル市場全般に、スマートフォン・タブレット対応やクラウドへの動きが本格的です。またフリーミアムの動きも無視出来ません。

タブレット・スマートフォンへ対応は、これらのデバイスの普及が後押ししているのは間違いないでしょう。今後も引き続きこれらのデバイスに対応した製品やサービスが各社から発表されるのではないかと思います。

また、広がりつつあるクラウド対応についてその中身をみると、多地点接続サービスや包括的なマネージドサービスが多いですが、運用管理に特化したサービスも見られるようになりました。今後、ニーズの細分化によってクラウドテレビ会議サービスは多様化していくかもしれません。

加えて、クラウドを支える技術として仮想化が注目されていますが、テレビ会議も仮想化ソリューションに対応したものが増えてきました。今後、システムの効率化、スマートフォンやタブレットへの対応、大規模導入、BYODへのニーズとともに、テレビ会議の仮想化はさらに加速する様相を見せています。

他方、フリーミアムの動きが今後、テレビ会議/Web会議業界にどのような影響を与えていくかは未知数ですが、裾野の広がりにプラスに作用していくのではないかと見ています。

次号もよろしくお願致します。

橋本啓介